

牧野富太郎と多摩

植物学者としておそらく日本でもっとも有名で、2022年に生誕160年を迎えた牧野富太郎は、植物分類学の研究と発展のため、日本各地で植物採集をおこない、多くの植物研究家と交流するなど、全国で活躍しました。一見、牧野富太郎と多摩地域とのつながりは深くはなさそうですが、調べてみるとさまざまな形で多摩地域とつながりがあり、彼があたえた影響は世代を超えて現在も続いていることがわかりました。本展では牧野富太郎と多摩地域との多様なつながりを紹介します。

本展は2023年5月にパルテノン多摩ミュージアムで開催した特別展「牧野富太郎と多摩」の巡回展です。多摩聖蹟記念館は、牧野富太郎と同郷である田中光顕によって創設され、いまま旧多摩聖蹟記念館として自然豊かな都立桜ヶ丘公園内にあります。旧多摩聖蹟記念館で、牧野富太郎の多摩地域での足跡をたどります。



牧野富太郎採集標本(イチゴツナギ)/東京都立大学牧野標本館所蔵

会場：旧多摩聖蹟記念館

会期：2023年11月30日－2024年2月6日

「牧野富太郎と多摩」 展示パネルリスト

はじめに

(一) 牧野富太郎と植物分類学

1-1. 牧野富太郎が生まれたところ

1-2. 佐川から出世した人々

1-3. 牧野家について

1-4. 牧野富太郎のまなび

1-5. 植物を独学で学ぶ

【トピック】本草学と植物学

1-6. 植物の師との出会い

1-7. はじめての東京

1-8. 牧野富太郎、東大に行く

1-9. 植物を分類する

1-10. 欧米の植物学と肩を並べるために

『大日本植物志』ヤマザクラ

【トピック】牧野富太郎のモットー

1-11. 牧野富太郎と田中光顕

1-12. 植物分類学の発展のために

1-13. 日本各地の植物同好会をプロデュース

1-14. 植物図鑑をつくる

1-15. 牧野富太郎の人となり

(二) 多摩にも来た牧野富太郎

2-1. 標本をあつめるということ

2-2. 牧野富太郎の植物採集

2-3. 牧野富太郎の植物標本

2-4. 牧野富太郎が来た頃の多摩

2-5. 牧野富太郎が訪れた多摩地域マップ

2-6. 多摩村での採集

2-7. 多摩聖蹟記念館と牧野富太郎

【トピック】多摩聖蹟記念館周辺の植物と植樹活動

2-8. 植物研究者に愛された高尾山

2-9. 高尾山とその周辺で最初に発見された植物

(三) 植物観察会に宿る牧野富太郎のこころ

3-1. 多摩市植物友の会とパルテノン多摩の植物観察会

3-2. 多摩市植物友の会と旧多摩聖蹟記念館

【トピック】桜ヶ丘公園のワカキノサクラ

3-3. モットーは「知ってることは私が先生、
知らないことは私が生徒」

3-4. 多摩地域の植物研究家、畔上能力

3-5. 畔上能力の植物の先生

3-6. 日本植物友の会

3-7. 農林省林業試験場浅川実験林

3-8. 東京植物同好会・牧野植物同好会

3-9. 国立科学博物館

3-10. ハ王子自然友の会

3-11. 守れなかった場所、守れた場所

3-12. 牧野富太郎から未来へのプレゼント①②

おわりに

(協力機関・協力者一覧)

「牧野富太郎と多摩」複製標本リスト

4-1. 牧野富太郎が多摩地域で採集した標本	採集年	所蔵・画像提供
1 【複製】アズマイバラ標本（町田市相原町）	1914（大正3）	東京都立大学牧野標本館
2 【複製】シバヤナギ標本（町田市相原町）	1914（大正3）	東京都立大学牧野標本館
3 【複製】トコナツ標本（八王子市由井）	1915（大正4）	東京都立大学牧野標本館
4 【複製】ヒメハギ標本（日野市百草）	1894（明治24）	東京都立大学牧野標本館
5 【複製】フキ標本（日野市平山）	1941（昭和16）	東京都立大学牧野標本館
6 【複製】ミヤコグサ標本（川崎市登戸）	1888（明治21）	東京都立大学牧野標本館
7 【複製】テリハノイバラ標本（川崎市登戸）	1888（明治21）	東京都立大学牧野標本館
8 【複製】ノジトラノオ標本（川崎市登戸）	1931（昭和6）	東京都立大学牧野標本館
9 【複製】クマガイソウ標本（川崎市登戸）	1931（昭和6）	東京都立大学牧野標本館
10 【複製】タマノカンアオイ標本（川崎市登戸）	1940（昭和15）	東京都立大学牧野標本館
11 【複製】ママコノシリヌグイ標本（川崎市登戸）	1940（昭和15）	東京都立大学牧野標本館
12 【複製】キンラン標本（川崎市登戸）	1940（昭和15）	東京都立大学牧野標本館

4-2. 牧野富太郎が多摩村で採集した標本	採集年	所蔵・画像提供
1 【複製】ハマアオスゲ標本（多摩市関戸）	1894（明治24）	東京都立大学牧野標本館
2 【複製】カナビキソウ標本（多摩市関戸）	1894（明治24）	東京都立大学牧野標本館
3 【複製】イチゴツナギ標本（多摩市関戸）	1894（明治24）	東京都立大学牧野標本館
4 【複製】カワラニガナ標本（多摩市関戸）	1894（明治24）	東京都立大学牧野標本館
5 【複製】オヤブジラミ標本（多摩市関戸）	1894（明治24）	東京都立大学牧野標本館
6 【複製】ヒメコウゾ標本（多摩市）	1936（昭和11）	東京都立大学牧野標本館
7 【複製】オオヤハズエンドウ標本（多摩市）	1936（昭和11）	東京都立大学牧野標本館
8 【複製】ハナウド標本（多摩市関戸）	1940（昭和15）	東京都立大学牧野標本館

4-3. 高尾山で最初に発見された植物の標本	採集年	所蔵・画像提供
1 【複製】イイヌマムカゴ標本（八王子市高尾山）	1890（明治23）	東京都立大学牧野標本館
2 【複製】コミヤマスミレ標本（八王子市高尾山）	1899（明治32）	東京大学総合研究博物館
3 【複製】キランニシキゴロモ標本（八王子市高尾山）	1912（明治45）	東京都立大学牧野標本館
4 【複製】オオツクバネガシ標本（八王子市高尾山）	1915（大正4）	東京都立大学牧野標本館
5 【複製】タカオホロシ標本（八王子市高尾山）	1926（大正15）	東京都立大学牧野標本館
6 【複製】タルミヤシャブシ標本（八王子市大垂水）	1961（昭和36）	東京都立大学牧野標本館
7 【複製】タカオイノデ標本（八王子市高尾山）	1967（昭和42）	国立科学博物館

4-4. 浅川実験林関係者が採取した標本	採集年	所蔵・画像提供
1 【複製】オニイノデ標本（八王子市上恩方町）	1963（昭和38）	国立科学博物館
2 【複製】チョウセンキンミズヒキ標本（八王子市陣馬山）	1963（昭和38）	国立科学博物館
3 【複製】コシダ標本（八王子市上恩方町）	1966（昭和41）	国立科学博物館
4 【複製】ユクノキ標本（八王子市高尾山）	1968（昭和43）	国立科学博物館

4-5. 国立科学博物館に所蔵されている多摩地域の標本	採集年	所蔵・画像提供
1 【複製】ツクシショウジョウバカマ標本（多摩市関戸）	1938（昭和13）	国立科学博物館
2 【複製】ミズトンボ標本（多摩市永山）	1964（昭和39）	国立科学博物館
3 【複製】サワシロギク標本（多摩市永山）	1965（昭和40）	国立科学博物館
4 【複製】カワラノギク標本（日野市）	1937（昭和12）	国立科学博物館
5 【複製】ヤマジソ標本（八王子市城山）	1930（昭和5）	国立科学博物館
6 【複製】シギンカラマツ標本（八王子市小仏峠）	1964（昭和39）	国立科学博物館
7 【複製】カイコバイモ標本（八王子市）	1965（昭和40）	国立科学博物館
8 【複製】オクタマゼンマイ標本（八王子市高尾山）	1968（昭和43）	国立科学博物館
9 【複製】フジウツギ標本（八王子市木下沢）	1970（昭和45）	国立科学博物館
10 【複製】シロヤシオ標本（奥多摩町日原）	1950（昭和25）	国立科学博物館

「牧野富太郎と多摩」 展示品リスト

5-1.	「連光寺御猟場の動物たち」	所蔵
1	【標本】 タヌキ	多摩市教育委員会
2	【標本】 イタチ	多摩市教育委員会
3	【標本】 コジュケイ	多摩市教育委員会
4	【標本】 ヤマドリ	多摩市教育委員会
5	【標本】 ウズラ	多摩市教育委員会
6	【標本】 キジバト	多摩市教育委員会
7	【標本】 ヒヨドリの巣	多摩市教育委員会
8	【標本】 蜂の巣	多摩市教育委員会
5-2.	京王電車沿線名所図絵	1930（昭和5） 多摩市教育委員会
5-3.	田中光顕等身大写真	1937（昭和12） 多摩市教育委員会